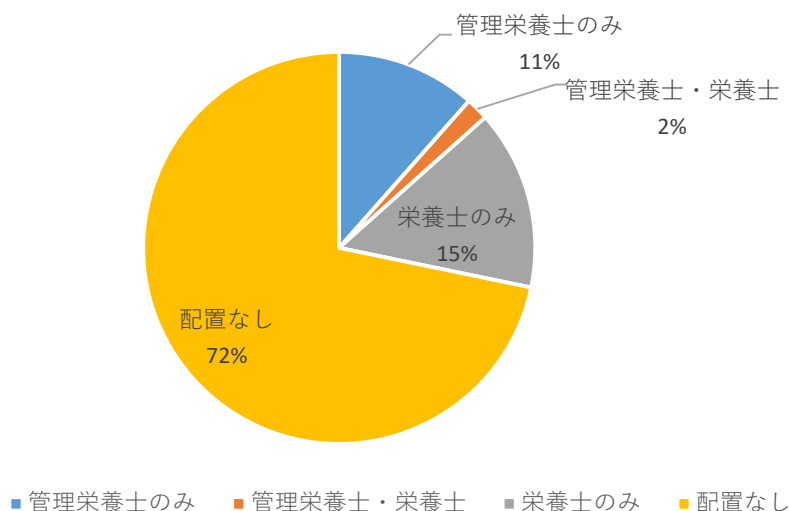


令和7年度「給食管理栄養管理状況報告書」結果のまとめ（児童福祉施設）

1. 管理栄養士・栄養士の配置状況

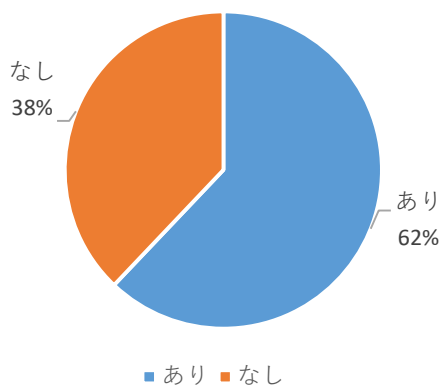


配 置	施設数
管理栄養士のみ	31
管理栄養士・栄養士	5
栄養士のみ	40
配置なし	193
合計	269

2. 対象者による給食評価の実施状況

・調査実施の有無

* 食事内容調査、嗜好調査、食環境調査のほか
試食会アンケート、会議、主食量調査 など



3. 塩分（食塩相当量）の給与量

【参考】

日本人の食事摂取基準（2025年版）

ナトリウムの食事基準（食塩相当量（g/日））

3～5 歳児 3.5 g 未満

10～11 歳児 6.0 g 未満

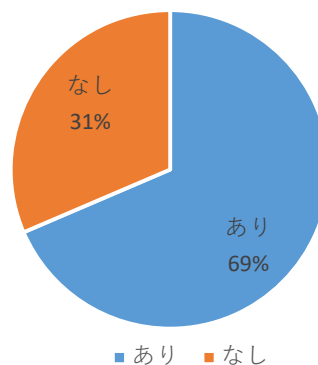
市内の保育施設の多くが、3歳以上児において、1食あたり1.4g程度の塩分（食塩相当量）を給与している。
また、3食提供の児童福祉施設では、日本人の食事摂取基準の目標量よりも多い給与となっている。

4. 園児・保護者への栄養教育

・栄養教育実施の有無

＊その他の情報提供

給食サンプル展示、イベント、インスタグラム、ホームページ、レシピ配布、試食会、教育活動、掲示物、動画配信、食育講座、保護者相談等



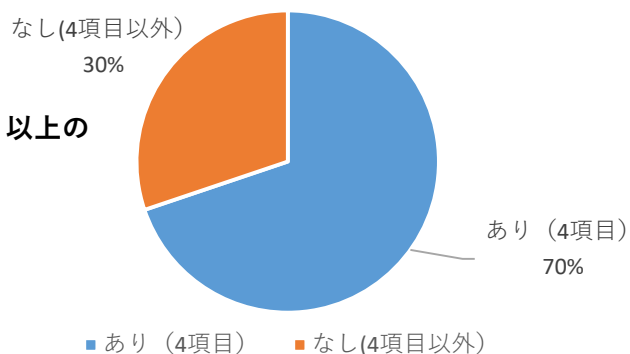
＊対象 267 施設

5. 栄養成分表示

・栄養成分表示の有無

90%の施設で栄養成分表示を行っている。

栄養成分表示を行っている施設のうち、4項目（エネルギー、たんぱく質、脂質、食塩）以上の表示の有無

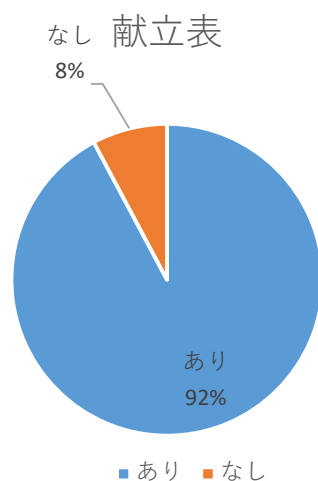


＊対象：242 施設

6. 非常災害対策

・非常食備蓄献立の有無

マニュアルの整備、非常食の備蓄は、対策済であるが、献立表（備蓄）の作成が課題である。



＊非常災害時の備えについて

災害発生時であっても栄養管理基準に沿った適切な栄養管理を行うため、平時から災害発生時に備え、食糧の備蓄や対応方法の整理など、体制の整備に努める必要がある。